

(別添)

(参考)

# 次期森林計画についての森林管理署の検討方向

## — 目 次 —

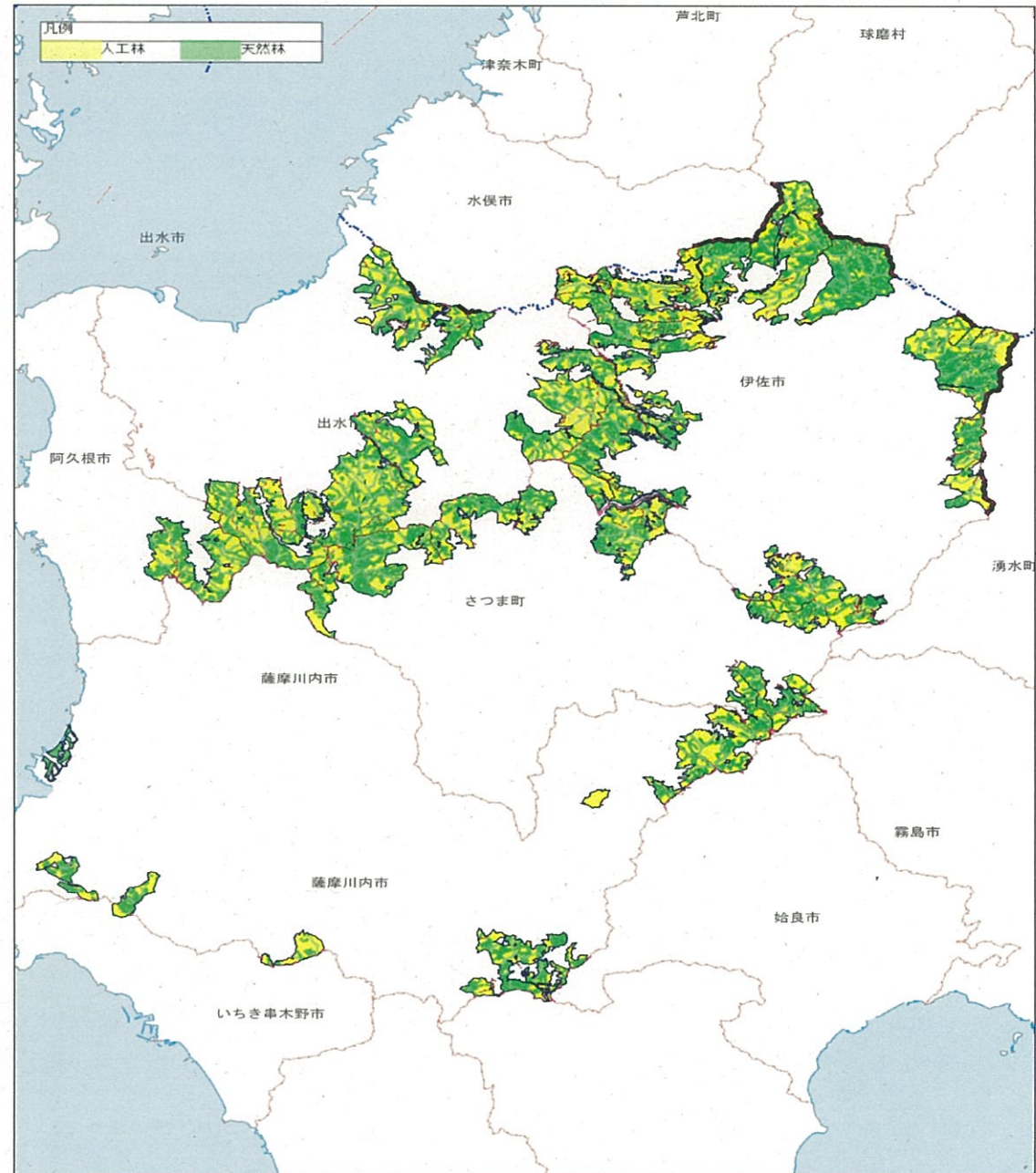
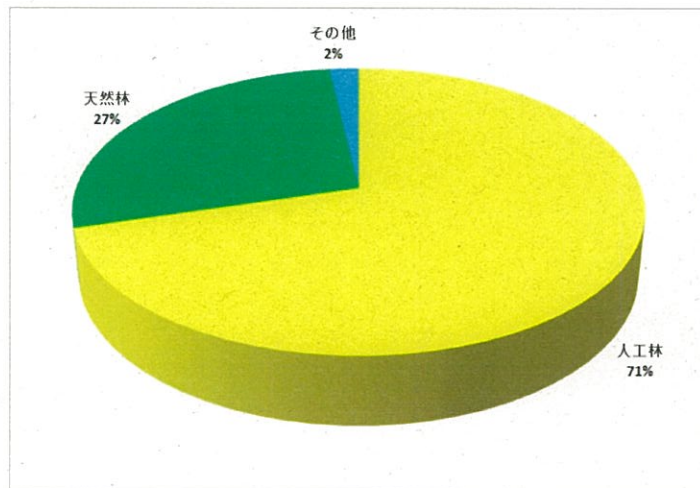
1. 現行計画の概要
  - (1) 国有林野の管理経営に関する基本的な事項
  - (2) 国有林野の維持及び保存に関する事項
  - (3) 林産物の供給に関する事項
  - (4) 国有林野の活用に関する事項
  - (5) 国民の参加による森林の整備に関する事項
2. 次期計画の検討方向

北薩森林管理署



# 1. 現行計画の概要(平成27年4月1日～32年3月31日)

- ・北薩森林計画の対象は、鹿児島県北西部に位置する薩摩川内市、阿久根市、出水市、伊佐市及びさつま町の4市1町に広がる国有林野31,841haです。
- ・計画区内の全森林面積の24%にあたり、人工林が71%を占めています。
- ・水源かん養保安林が国有林野全体の92%に達し、下流域の水がめとして重要な役割を担っているほか、「希少固体群保護林」の設定により、多様で貴重な植物の保護とともに、森林レクリエーションや保健休養の場として多くの人に利用されています。





# (1) 国有林野の管理経営に関する基本的な事項

## ① 機能類型に応じた管理経営

国有林野の管理経営に関する基本計画に即して、開かれた「国民の森林」に向けた取組を推進するため、個々の国有林野を重点的に発揮すべき機能に応じて、5つの機能類型に区分し、それぞれの発揮すべき機能に応じて管理経営を行っています。

機能類型区分(面積)	機能類型区分の考え方	目指すべき森林の姿
山地災害防止タイプ (6, 115ha)	山地災害の防止及び土壌保全機能の発揮を重視	根や表土の保全、下層植生の発達した森林
自然維持タイプ (81ha)	原生的な森林生態系や希少な生物の成育・生息する森林など属地的な生物多様性保全機能の発揮を重視	良好な自然環境を保持する森林、希少な生物の育成・成育に適した森林
森林空間利用タイプ (172ha)	保健、レクリエーション、文化機能の発揮を重視	保健・文化・教育的利用の形態に応じた多様な森林
快適環境形成タイプ (0ha)	快適な環境の形成の機能を発揮を重視	騒音の低減や大気の浄化など、人の居住環境を良好な状態に保全する役割を持つ森林
水源涵養タイプ (25, 473ha)	水源の涵養の機能を発揮を重視第一とすべき森林	人工林の間伐や伐期の長期化、広葉樹の導入による育成複層林への誘導を図る森林であり、森林資源の有効利用にも配慮



## ② 流域管理システムの推進

県・市町村等との密接な連携を図るとともに、組織力・技術・資源を活用し、民有林経営の支援等に積極的に取り組めます。

林業技術向上のための現地研修会を実施しています。



民有林内において、県の林業普及指導員等が参加して、新たな取り組みによる低コスト造林システムに関する現地検討会を行い、民・国有林への技術の普及に取り組んでいます。

民有林と協調した効率的な森林整備を推進します。



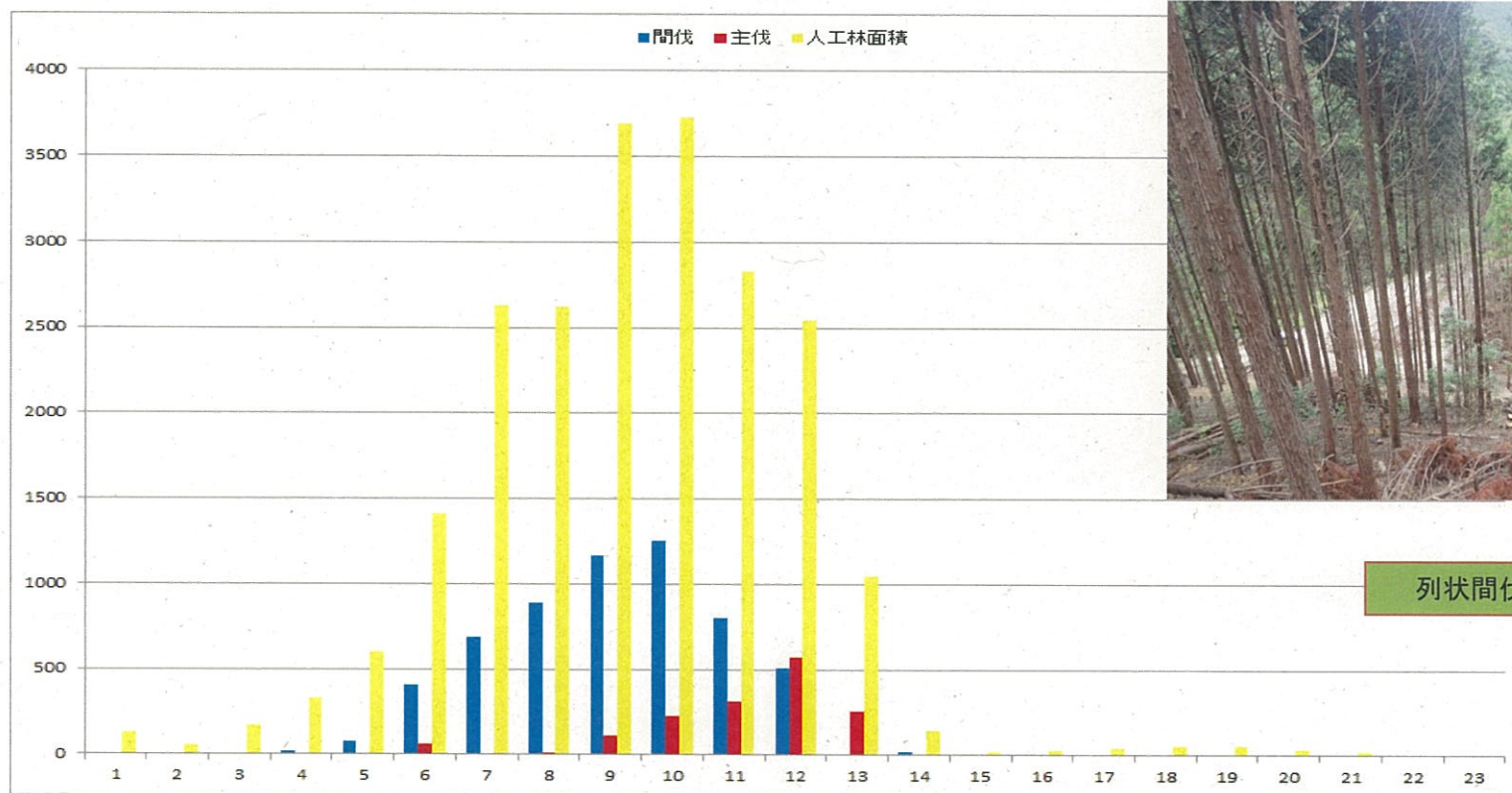
民有林と国有林が鹿児島県出水地域において、「森林整備推進協定」を締結し、協定者が連携して団地化を推進し、合理的な路網整備や効率的な森林施業の実施に取り組んでいます。



### ③ 森林吸収源対策に向けた積極的な間伐の推進

本計画区の人造林の面積は約22,170haで、16年生から60年生の人造林の面積は約20,391ha（人造林面積の92%）です。

また、現行計画（H27年度～31年度）では主・間伐を約7,427ha計画しており、森林吸収源対策のためにも間伐を推進しています。



列状間伐を導入した人工林

注：1年齢級は1～5年生を表します。



#### ④ 多様な森林の整備

間伐をはじめとした森林整備に積極的かつ着実に取り組むとともに、針広混交林化、複層林化、長伐期化などを通じて、多様で健全な森林の整備・保全を推進します。



現状(人工林)



針広混交林



長伐期化された森林



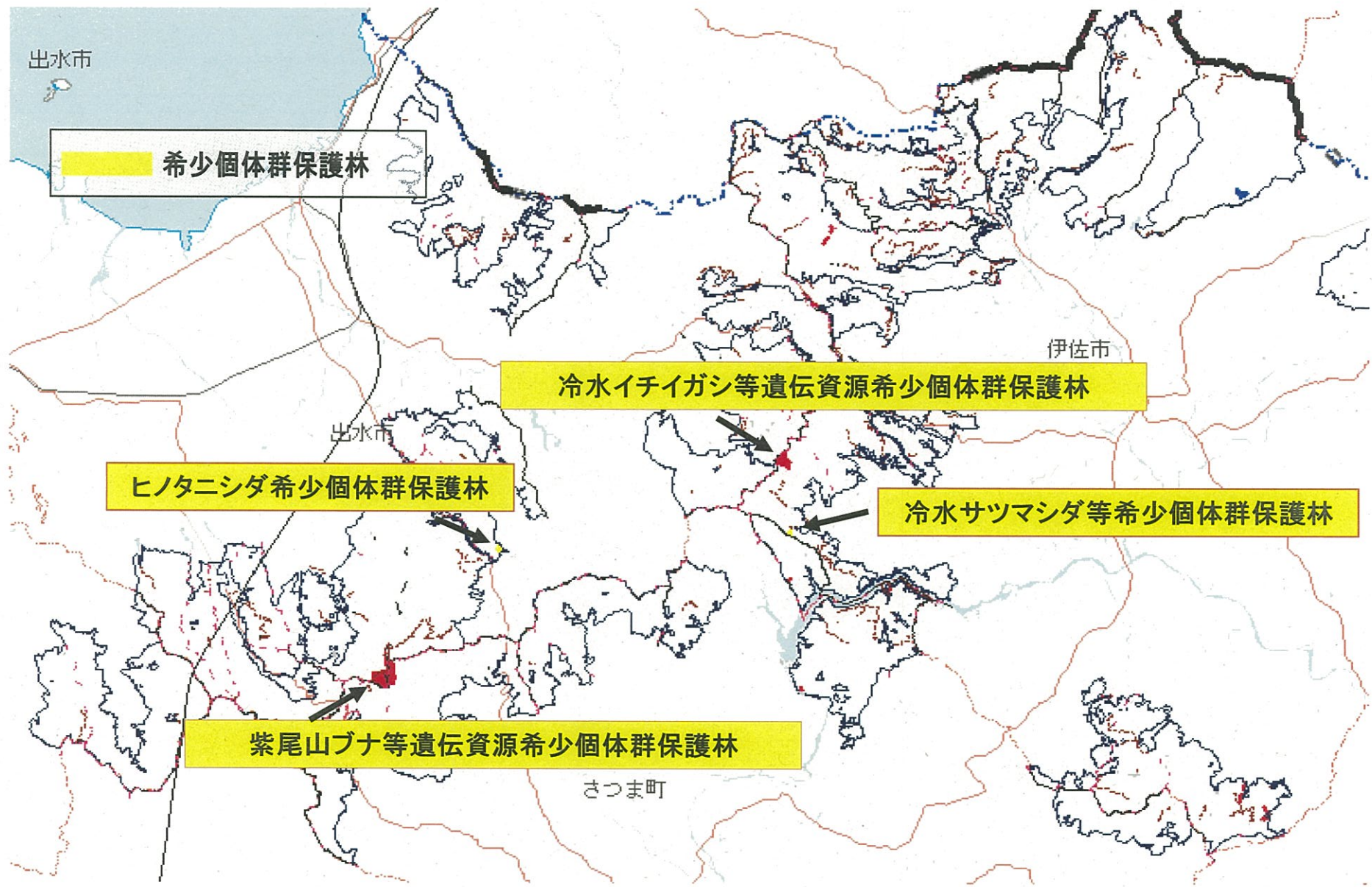
## (2) 国有林野の維持及び保存に関する事項

### ① 生物多様性の保全(保護林)

本計画区には貴重な天然林等が多数存在しており、これらについては保護林を設定し、適切に保護・保全を図っています。

種類	名称	特徴等	面積ha
希少個体群保護林	紫尾山ブナ等遺伝資源	温帯のブナ、アカガシなどの暖帯の樹種が混成した多様性のある貴重な森林生態系を保存する。	32
	冷水イチイガシ等遺伝資源	暖帯林の代表的な植物である、イチイガシなどの貴重な森林生態系を保存する。	13
	ヒノタニシダ	スギとカシ、シイ類との混交林で、「絶滅危惧IB類(EN)」に位置づけられた「ヒノタニシダ」が生育している貴重な植物群落を保存する。	3
	冷水サツマシダ等	カシ、シイ類を主体とした広葉樹林で、「絶滅危惧IB類(EN)」に位置づけられた「サツマシダ」を含め約70種類が生育している貴重な植物群落を保存する。	1





出水市

希少個体群保護林

伊佐市

冷水イチイガシ等遺伝資源希少個体群保護林

出水市

ヒノタニシダ希少個体群保護林

冷水サツマシダ等希少個体群保護林

紫尾山ブナ等遺伝資源希少個体群保護林

さつま町



## 安全・安心の確保に向けた治山対策の展開

安全・安心の確保に向けた効率的な治山対策に取り組んでいます。



鹿児島県北薩森林計画区内(大分類流域: 川内川)において、公共施設等に被害がおよんだ箇所に治山施設を設置し、不安定土砂の移動防止を図るとともに溪床の安定を図っている。





### (3) 林産物の供給に関する事項

#### ① 高効率・低コストな作業システムの定着

伐採、造林等の事業の実施の効率化を図りつつ、健全な森林を整備するとともに、木材の需要動向や木材産業の状況等を的確に把握しつつ、国有林材の安定的な供給を推進しています。



集成材工場や合板工場、製材工場等の原材料となる木材を安定的に供給する「システム販売」を推進しています。



林業生産コストの削減を図るため、コンテナ苗を導入し低コスト造林による森林整備を推進しています。



(3) 林産物の供給に関する事項  
① 高効率・低コストな作業システムの定着



効率的な木材搬出と森林整備を実施しています。



林業生産コストの削減を図るため、簡易で崩れにくい路網の整備を推進しています。



## (5) 国民の参加による森林の整備に関する事項

### ① 国民参加の森林づくり

国有林野をフィールドとした国民参加の森林づくりを推進しています。

地元ボランティアの方々とは協力して保護林の保全を図っています。



地元ボランティア団体と協働して、紫尾山ブナ保護林のシカ食害地の予防対策を行いブナ林の保護に取り組んでいます。

国民や企業の自主的な参加による森林の整備を推進します。



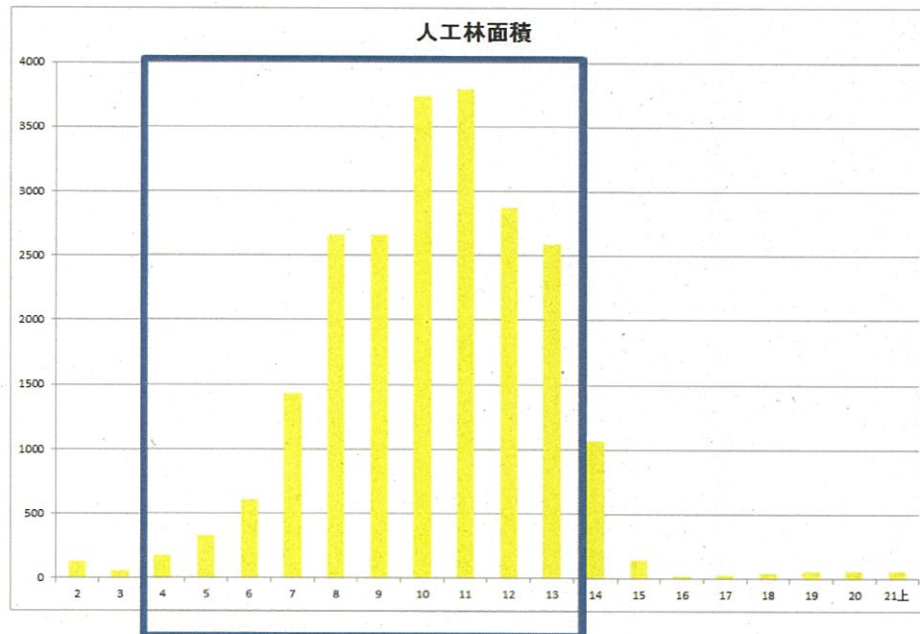
「遊々の森」により、継続的な林業体験活動の場を提供し森林環境教育の推進に努めます。



## 2 次期計画の検討方向

### (1) 管理経営上の課題

- ・本計画区の国有林野が有する水源かん養機能や保健文化機能等の公益的機能の発揮を高め、ていく必要があります。
- ・次期計画においても主・間伐対象となる16年生から65年生の人工林の割合は現行計画と同程度であり、健全な森林づくりのほか森林吸収源対策の上からも主・間伐を推進する必要があります。





・海岸防災林の再生、森林病虫害等に強い多様な森林の造成を立地条件に応じ推進していく必要があります。

・本計画区には各種保護林を設定しており、これらの国有林野を適切に管理していく必要があります。

・本計画区には、絶滅のおそれのある「ヒノタニシダ」、「サツマシダ」が生育していることから、これの生育環境の保全に留意しつつ、国有林野を適切に管理していく必要があります。

・国民参加による森林づくりに関する問い合わせや相談が増加していることから、これらの要請に適切に対応していく必要があります。

・国産材の安定供給を実現するため、生産システムのコスト縮減と生産性向上を進める必要があります。

・エネルギー原料としての利用等新たなニーズに応えるため、これまで利用してこなかった林地残材等の利用を進めていく必要があります。

・国民が安全・安心に暮らせる環境づくりに向けて、治山対策に取り組む必要があります。



## (2) 計画内容

- ・公益的機能の維持増進を旨とする管理経営を行うとの方針の下、多様で健全な森林の整備・保全を行うほか、森林吸収源対策として引き続き主・間伐を推進する方向です。
- ・海岸保安林の保全機能を維持することとし、松くい虫などにより保全機能の低下した松林においては広葉樹への樹種転換など多様な森林の造成を推進する方向です。
- ・貴重な植物種の保護を目的とする保護林については、現状を維持する方向です。
- ・生物多様性の保全を推進する観点から、絶滅のおそれのある「ヒノタニシダ」、「サツマシダ」が生育している箇所については生育環境に十分に配慮した森林施業、森林の保護・管理に努める方向です。
- ・生産システムのコスト縮減と生産性の向上を図るため、簡易で壊れにくい路網の整備を引き続き推進する方向です。
- ・これまで利用されてこなかった林地残材等の有効利用を図るため、これらを含む国産材のシステム販売に努める方向です。